

みなさんしばしご無沙汰しています。
徳島大学教職員労働組合です。

【毎年恒例の学長・病院長懇談について】

組合では例年、9月～10月ごろに、学長・病院長と、教職員の待遇改善や今後の大学の進むべき方向性について、意見交換の場を設けております。今年も開催を申し入れるべく準備を進めています。

今年は、年俸制教員の手当の改善や、パート職員の4年目以降の時給アップ・賞与支給、蔵本の駐車料金が他の事業所と比べて高額な点について、重点的に取り組みたいと考えております。とくに、年俸制教員に大学院担当手当がつかないことは大きな問題だと考えています。

懇談に先立って、大学側・病院側に質問状を送付しました。

組合は、労働者の立場から、現場の声をもとに状況の改善を進めています。まだ組合にご加入されていない方は、ぜひご加入ください。

「組合が活動しても無駄」とお考えの方もおられるかもしれませんが、たとえば徳島大学ではパート職員は基本的に全員が雇用期間5年を超えると無期雇用に転換できます。これは組合活動によって実現した成果です。他の国立大学の大部分では「5年で雇止め」が主流となっています。その他、私たちの組合は多くの

成果を上げています。詳しくは[組合HP](#)をご覧ください。

【蔵本駐車場についてのアンケート】

学長との懇談では、蔵本の駐車料金の問題を取り上げたいと考えています。そのために、現場のみなさまのご意見をアンケートにて集約したいと思います。Googleフォームを使った匿名のアンケート調査です。

ご協力いただける方は、[こちら](#)をクリックしてください。

【文科省との懇談】

組合では、全国組織である「全国大学高専教職員組合（全大教）」を通じて、文科省や財務省との懇談や交渉を行っています。

現在、徳島大学教職員組合の委員長が全大教副委員長を兼務しており、毎回の懇談に出席しています。

直近では、去る8月8日に文科省との懇談を実施しました。大学予算の算定基準の抜本的見直しや、学生支援の在り方について意見交換を行いました。また、「研究者の10年雇止め問題」に対する文科省の取り組みについての情報提供を受けました。

懇談に先立ち、組合員から「文科省に言いたいこと」を募集し、それを集約して「現場の声」として伝えました。

懇談の議事要旨を文科省側出席者に確認中です。確認が取れましたら、組合員限定にて公開いたします。

【国会議員等との交渉】

今年4月には、全大教では衆参の文部科学委員会・文教科学委員会所属の国会議員数十名に対して請願活動を行いました。活動の目的は、「今年度の政府『骨太方針』に国立大学運営費交付金の増額を書き込ませること」でした。

活動の結果、「骨太方針2024」に「運営費交付金や私学助成等の基盤的経費を十分に確保」と記載されました。骨太方針にこうしたことが書き込まれるのは国立大学の法人化以降初めてのことで、大きな成果です。文部科学省としては、これをテコに、今年度の交付金の増額に尽力するとのことでした。

「骨太方針2024」の本文は[こちら](#)をご覧ください。上記の記載はp.48です。

【就業規則の改正について】

徳島大学病院では、10月1日より医員の日給等の改善を計画しているとのこと。改善の概要は[こちら](#)をご覧ください。

組合書記長が過半数代表者を兼務しており、改正に対する意見書を8月30日付で提出しております。意見書の内容は[こちら](#)をご参照ください。

<連絡先>

- ・ ウェブサイト：<http://tokushima-u-u.nion.in.coocan.jp/>
- ・ 加入申し込みフォーム：<https://forms.gle/jF8FbpioZjXmW5k88>（グーグルフォームが開きます。）
- ・ メールアドレス：tokushima.univ.nion@gmail.com fwvn7743@nifty.ne.jp
- ・ ご意見・ご相談・情報提供など、お気軽にお寄せください。
- ・ 配信停止や、別アドレス（個人用等）への配信申し込みなどもお寄せください。

徳島大学教職員労働組合
